



衆議院議員

藤田 まこと

NEWS LETTER

仕事人通信

VOL.

2

2026/03/31

3月19日から
緊急補助を開始
 レギュラーガソリン
170円/ℓ 程度に **値下げ**
 GS

※3月19日以降の実給単価
 ガソリン 30.2円/ℓ 軽油 47.3円/ℓ
 灯油・重油 30.2円/ℓ 航空機燃料 12.0円/ℓ

給油はいつものペースで!

ガソリン170円程度へ抑制、緊急補助開始

イラン情勢などを背景とした原油価格の高騰を受け、3月19日より燃料価格の上昇を抑制するための緊急措置が講じられました。石油製品の価格高騰への不安に応えるべく、ガソリン価格を1リットルあた【170円程度に抑える緊急補助が開始され、軽油・灯油などについても同様の支援を実施しています。エネルギー価格の上昇は、家計のみならず物流や中小企業、地域産業にも大きな影響を与えます。今回の措置により負担軽減を図るとともに、引き続き安定供給と価格抑制に向けた取り組みを進めてまいります。

八潮道路陥没事故関連活動

八潮市商工会館にて開催された「陥没事故におけるこれまでと今後に関する報告会」にて近隣住民の皆様へのご報告およびご意見を頂戴しました。また、下水道法の一部改正に関する検討部会に出席、老朽化対策の点検と整備はもちろんのこと、事故時の対応方針や市・県・国の役割分担における整備の必要性についても言及いたしました。さらに埼玉県下水道局長をはじめとする関係者ともディスカッションを行っております。事故現場の道路復旧は片側通行が4月下旬より開始される予定です。一方で下水管の複線化などの大幅改修工事が新たな始まるなど、完全復旧はまだまだ時間がかかります。1日も早い復旧と被害に合われている近隣住民の皆さまへの必要な対応が行き届くように。引き続き取り組んでまいります。



「医療・保育・介護」と「経営・経済」を主軸に

国会では厚生労働委員会に所属となり、治療と就労の両立、社会保障制度改革、現役世代支援などの推進、実現に取り組んでいきます。がんサバイバー、現役子育て世代という当事者視点を大切に、安心・安全な社会基盤づくりに貢献していく所存です。また、上場会社創業者という経験を活かすべく、スタートアップ、ディープテック領域の新産業育成およびエコシステムの形成にも尽力してまいります。



埼玉1区の村井英樹議員（国会対策委員会筆頭理事）はじめ、小泉進次郎防衛大臣ほか多くの先輩議員よりご指導賜っております。また、小林史明議員（経済産業部会長）が主宰する新人議員向け経産政策勉強会では事務局を務めながら、政策理解を深めております。現場の課題と国の制度をどうつなぐか。その精度を高めてまいります。



お問い合わせ

E-mail : info@fujitamakoto.com
 TEL : 03-3508-7192
 FAX : 03-3508-3622

WEB



■国会事務所
 〒100-8991 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1206号室
 ■草加事務所
 〒340-0034 埼玉県草加市氷川町845

知りたいこと、答えます。

“藤田 まこと”について

Q & A

Q&Aコーナーでは、「藤田まこと」の人となりについてお伝えします。

衆議院議員「藤田まこと」をより身近に感じていただき、少しでも知っていただけたら嬉しいです。

Q

三郷出身なの？



A

はい、7歳から三郷です。東北から上京した両親がマイホームを建てたことから移り住みました。祖父母が草加旭町に移り住んでいたこともあり、近隣を選んだようです。

Q

年齢は？出身校は？



A

52歳。引っ越した当初は三郷市立早稲田小学校、その後、丹後小、前間小に通いました。区画整理後、早稲田団地オープンなど三郷市は人口爆発期にあり、小学校が2回も変わりました。その後、市立早稲田中、埼玉県立越谷北高校、明治大学へと進学することになります。

Q

政治経験は？



A

地方議員含めございません。これまでは大学卒業後、広告代理店やインターネットベンチャー企業を複数在籍後、自ら起業。14年目に東証マザーズに上場させた上場創業社長でした（現 INCLUSIVE Holdings）。現場経験、企業経験、上場経験などを政策に活かしていきます。

Q

がんに罹患？



A

はい！23年の年末、血液のがんである悪性リンパ腫のステージ4を告知されました。骨髄移植を含む7か月間の抗がん剤治療を経て寛解。現在は見ての通り元気に復帰しております。治療と就労の現実をみたことが、政治を志すきっかけとなりました。

Q

なぜ、衆議院議員を目指すことに？



A

医療従事者の皆さんと日本の医療制度のお陰で命をつなぐことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。このご恩を返す最もインパクトのある仕事が国会議員として国の制度をより良くすること。医療における技術、制度、待遇がもっと良くなることを目指しています。

Q

当選から2か月、現在の活動は？



A

国会では「厚生労働委員会」の所属になりました。この4月から改正労働施策総合推進法が施行され、職場における治療と就業の両立支援が事業主の努力義務になります。この施策をさらに推進することで、病気になっても働ける社会、働きやすい社会をつくっていきます。また、地元課題である八潮陥没事故やインフラ老朽化政策。外国人政策。都県格差の是正なども引き続き注力していきます。今後、都度ご報告させていただきます。

Profile | 三郷出身。52歳。上場企業創業者。がんサバイバー | 自由民主党埼玉県第14選挙区支部長

2024年夏、悪性リンパ腫ステージ4寛解。この経験から強く感じたのは、命の重みと患者の現実。起業家として現場で培った推進力を糧に市民と共に考え、カタチにしていく「政策共創」で命に寄り添う政治を実現していきます。

1973年4月20日（52歳）三郷市出身。三郷市立前間小、市立早稲田中卒業。埼玉県立越谷北高等学校卒業。明治大学商学部卒業。

1997年3月、大学卒業後、中堅広告代理店、ネットベンチャー2社、livedoor（広告事業統括）を経て、2007年4月、出版社やテレビ局のデジタル事業開発を行う現INCLUSIVE Holdings株式会社を創立。2019年東証マザーズ（現東証グロース）上場。その後、民間ロケット開発会社・北海道スペースポートへの出資、人工衛星データベンチャー設立、京都の老舗料亭の経営再建、地方創生コンサルの買収など、テックベンチャーから宇宙関連企業まで幅広く経営。

2023年12月、マンツル細胞リンパ腫ステージ4告知。抗がん剤治療、自家細胞移植を経て寛解。この経験を活かして、がん患者をはじめとする弱者救済を志す。